

やまだ

議会だより

No. 168

2020. 8. 1発行
岩手県山田町議会

めざせ！
ワールドカップ！



シリーズ 家族の笑顔

織笠地区在住の石崎さん家族。
町への提言、思いを伺いました。
(関連記事P16)

6月
定例会

浦の浜シーカヤック艇庫運用開始へ — 2P

町の考えは 一般質問に10人の議員が登壇 — 4P

議会活動レポート — 15P

浦の浜 シーカヤック艇庫 運用開始へ

条例
可決

6月
定例会の
あらし

令和2年6月定例会は6月9日から11日までの3日間にわたって開かれました。町長提案の議案14件を審議し、全て原案のとおり可決しました。(2〜3ページ)

一般質問では10人の議員が登場し、活発な議論が行われました。(4〜14ページ)

定例会の議案審議や一般質問での質疑全文を記録した会議録は、9月下旬ころから、議会ホームページ、町立図書館で閲覧可能となる予定です。



7月より運用が開始された浦の浜シーカヤック艇庫

山 田湾を活用した体験観光の振興、地域の活性化に資することを目的としたシーカヤック艇庫を設置するにあたり、「山田町浦の浜シーカヤック艇庫条例」が提案され、全員賛成で可決しました。

■条例の概要

▼施設の名称
山田町浦の浜シーカヤック艇庫

▼場所

山田町船越第8地割99番地4

▼研修室の使用料

4時間 600円

一日 1000円

▼シーカヤック(一艇)

4時間 800円

一日 1400円

■質疑応答

問 B & Gの艇庫にある様々な設備を利用して合同でイベントを行うことは考えているか。

野口水産商工課長 シーカヤック艇庫については観光振興が目的であり、B & Gは教育振興が目的であるため、現時点で合同でのイベントは考えていない。しかし、今後運営していく中で、考えていく。



研修室内の様子

※この号の金額の記載は、個別の記載がない限り全て1万円以下切り捨てです。

定例会 主な議決議案の内容

定例会で議決した主な議案の概要をお知らせします。どの議案も原案のとおり可決しました。

■町教育委員会の委員 長崎千秋氏の再任に同意

現在の教育委員である長崎千秋氏の任期満了に伴い長崎氏の再任に同意することについて、全員賛成で決定しました。

任期は令和2年6月19日から6年6月18日までとなっています。

■医療費現物給付を中学生まで拡大

医療費助成事業における子どもに係る現物給付について、県内全市町村が統一して中学生まで対象を拡大することに伴い、「山田町乳幼児、児童生徒、妊産婦及び重度心身障害者医療費給付条例」および「山田町社会福祉憲章条例」の一部を改正する条例を可決しました。

■一般会計補正予算を可決

新型コロナウイルス感染症対策に関連する追加支援や、台風19号被害に係る災害復旧費用の計上などを目的とした一般会計補正予算（第2号）を可決しました。

▷補正額

13億5158万円増額

▷補正後金額

132億7091万円

■消防ポンプ自動車を買入れ

消防団第7分団で使用する消防ポンプ自動車（1台）の取得を可決しました。

▷取得金額 2299万円

■オランダ島施設整備事業遊歩道等整備 工事の請負変更契約

島周囲の海岸沿いが複雑に入り組んでいることから遊歩道の幅員を変更するほか、新型コロナウイルス感染症の影響により、資材の納入が遅れる見込みとなることから工期および契約金額の変更を行うための変更契約を可決しました。

▷変更前

契約金額 1億186万円

工期 元年11月1日から2年6月30日まで

▷変更後

契約金額 1億1959万円

工期 元年11月1日から2年7月20日まで



遊歩道工事が進むオランダ島

皆さまからの請願

■「気候非常事態宣言」
等を求める請願

▽付託委員会
総務教育常任委員会

▽提出者

佐々木 泰子 氏

▽委員会での結果

審議の結果、継続審査とし、定例会最終日に閉会中の継続審査申出書を提出しました。

▽紹介議員

木村 洋子
黒沢 一成

※請願とは・・・国民の権利であり、国または地方公共団体等の公共団体に対し、一定の希望を述べるもの。請願書の提出にあたっては、議員の紹介が必要となります。

第2回臨時会（5月26日）

議案12件を審議し、どの議案も賛成多数で原案のとおり可決しました。

■教育長の再任同意

現在の教育長である佐々木茂人氏の任期満了に伴い、佐々木氏の再任に同意することを賛成多数により決定しました。任期は、令和2年6月5日から5年6月4日までとなっています。



佐々木茂人教育長

～町政を問う～

一般質問 10人登壇

6月定例会での一般質問は、6月9日と10日の2日間に行われ、10人の議員が40件の一般質問をし、活発な議論が展開されました。

質問議員 (質問順)	質問事項	掲載 ページ
阿部 吉衛	○商工観光について ○郷土芸能について ○環境衛生について ○災害公営住宅について ○防災について	5
昆 清	○住宅用防災無線について ○台風19号による土木施設被害の復旧について ○公園整備について ○山田中学校グラウンド東側整備について ○展望広場について ○細浦地区整備について	6
山崎 泰昌	○新型コロナウイルスへの対応について ○町内のインフラ整備について	7
関 清貴	○新型コロナウイルス感染症対策事業について ○公園の復旧について ○復興工事の進捗について ○廃止となった公共施設について	8
木村 洋子	○新型コロナウイルス感染症について ○メガソーラー事業に伴う住民への影響について ○田の浜地区台風19号被害について	9
横田 龍寿	○町内事業者への支援について ○関係人口等の増加について ○特別定額給付金について ○海産物の通信販売について	10
阿部 幸一	○今後想定される津波とその被害について	11
黒沢 一成	○台風19号について ○学校給食について ○まちなか循環線について	12
菊地 光明	○台風19号被害について ○水産業について ○公園管理について ○限界集落について ○コロナウイルス関係について ○高台団地等について ○水道事業について ○教育について	13
豊間根 信	○新型コロナウイルス禍への対応成果及び今後の施策展開について ○台風19号被害の復旧状況について ○町内の公的施設へのエアコン設置状況について ○空き家バンク制度について	14

一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針などについて所信を聞き、報告や説明を求め疑問点をたずねることです。議員の質問時間は1人20分以内で、町側の答弁時間は含みません。

紙面の都合上、掲載できなかった一般質問は、9月下旬ころから議会ホームページ、図書館で閲覧可能となる予定です。

新型コロナウイルス

オランダ島に影響は

イベントの縮小を検討

問 オランダ島の復旧工事は工程どおり進んでいるか。進捗状況を示せ。

佐藤町長 新型コロナウイルスの影響により資材の納入が遅れたため、若干、工期延長を予定している。変更後の完了時期は7月中旬を見込んでおり、供用開始には影響はないと考えている。

問 オランダ島は今年度夏から供用開始を予定しているようだが、新型コロナウイルス感染症対策

として海童丸や各種イベントの変更等はあるのか。

町長 供用開始に合わせて、海童丸の運航やイベントを盛大に開催し、県内外からの誘客を図る計画であった。しかしながら、新型コロナウイルス感染症防止対策の観点から、当初の計画どおり実施することは難しい状況であり、規模の縮小や中止を視野に入れながら、現在検討している。



議員 阿部吉衛
(新 生 会)



環境美化には地域の皆様の協力が不可欠です

環境美化

自治会と連携を

現在呼びかけをしている

問 町内の整備が進み、街並みがきれいになったが、ごみのポイ捨てが多くみられるようになってきている。町と各地区自治会等の皆さんとで、ごみ拾いなどの環境美化について話し合う場が持てないか。

町長 現在、環境美化に関する話し合いの機会を設けるため、町内各地区の自治会等に呼びかけを行っている。今後、自治会等との協議を踏まえ、具体的な清掃活動の内容について検討を進めていきたい。

柳沢地区に
防災センターを

既存施設の活用を視野に検討

問 東日本大震災前には北浜地区に防災センターがあったが、柳沢地区において防災センターを建設する計画はないか。

町長 新たに防災センターとして建設する計画はないが、北浜・柳沢地区の集会施設は必要であると考えている。施設の設置については、柳沢地

区の既存施設の活用を視野に検討していく。

- ◆ 郷土芸能について
- ◆ 災害公営住宅について

その他の質問

伝作鼻の活用は

現時点では計画していない



昆 清 議員
(新 生 会)

一般質問



護岸工事が望まれる伝作鼻

問 伝作鼻の護岸工事整備の計画はどのようになっているか問う。
佐藤町長 土地所有者の三陸やまだ漁業協同組合を確認したところ、付近に民家がなく、漁業生産活動にも支障がないため、当面、復旧する計画

問 台風19号による土木施設被害の復旧工事進捗状況はどうなっているか。
町長 災害査定を受けた町道、河川および公園の災害復旧工事51件のうち9件を発注し、織笠地区の道路1件、船越地区の道路2件が完了してい

はないとのことである。
問 東日本大震災の津波により山が浸食しており、防災および観光の両面からも整備が必要と思われる。観光拠点として海水浴場等に活用できるか考えるがどうか。
町長 民家への影響がなく、観光で活用していくためには護岸のほかに各種施設の整備も必要となり、また、本年度から山田湾で2か所の海水浴場が開設される見込みであることから、現時点で活用は考えていない。

台風19号被害の復旧は

昨年末から着手

る。長内川に堆積した土石の除去は昨年末に行っており、織笠新田地区の河川からの越水による道路被害は令和2年度中の復旧を、田の浜地区防災緑地公園と大浦地区の秀全堂周辺は3年度中の復旧を見込んでいる。

家族旅行村の整備計画は

引き続き要望していく

問 入江田沼周辺の家族旅行村の整備方針と全体計画について示せ。
町長 県では台風19号の影響などにより、現在整備計画を見直しており、現段階で詳細は示せないとのこと。

問 再整備に当たりグランドゴルフ場として整備できないか。
町長 県に対してパーク

ゴルフなどができる施設の整備をお願いしている。今のところ結論は出ていないが、引き続き要望を続けていきたい。
問 観光客誘致の面からもグランドゴルフ等の県大会規模の大会を開催するべきと考えるがどうか。
町長 大きな大会を本町で開催することで観光客の誘致が図られ、地域経済への波及効果も期待できることから、町の競技団体が開催を希望した際には、その実現に向け支援していきたい。

その他の質問

- ◆織笠地区展望広場の整備計画について
- ◆戸別受信機について

インフラ整備の内容は

早期の整備に努める

問 昨年の台風19号被害の災害査定は済んでいるのか。また、国・県との調整は進んでいるのか。

佐藤町長 農林業施設は昨年12月に5件、公共土木施設は今年1月末までに52件、水道施設は今年2月に6件すべて終了している。

問 大浦地区の秀禪川とそれに係る道路は根本的に改良しなければならぬのではないか。

町長 当初の予定より遅れが生じており、それに伴い臨港道路整備も遅れが生じている。

問 設計業務を進めている。ワラビ川も少しの雨でも道路が冠水する。改良の予定はあるか。

建設課長 ワラビ川下流の旧第3分団屯所付近は、県が進めている町道の付け替え工事で道路のかさ上げをする。

問 田の浜の早川道路や、船越魚市場へ降りる道路、山田漁港の西川水門付近は、町の道路行政と関わる所であるが、これからの対応は。

野口水産商工課長 防潮堤工事の影響で通行に支障がある道路は、県と現

問 インフラ整備には建設業者が欠かせないが、入札不調は起きていないか。

町長 令和元年度に行つた92件の建設工事のうち31件が入札不調で不調率は34%であったが、再度入札、随意契約等で27件が落札している。

地を確認し対応してきた。西川水門付近の未舗装道路も把握しており、県に早期復旧をお願いする。



議員 山崎泰昌
(政和会)



臨港道路の早期整備を（西川水門付近）

新型コロナウイルスへの対応は

町独自の対応も検討する

問 当町では感染者が出していないが、医療機関の体制は万全か。また対応マニュアル等を作成しているか。

町長 すでに作成しているインフルエンザ等対策行動計画、実施計画の内容を改正しながら、これに基づいて行動している。また、県が主体となつて病床の整備や、宿泊施設の活用、医療機器の充実を進めている。

問 ウイルスの封じ込めが最優先だが町の経済を停滞させてはいけない。町内事業者にはパーテーションや飛沫防止のアク

ル铝板などの設置を促し、支援すべきでは。

水産商工課長 今後どのような支援が必要なのか調査、検討していく。

問 目に見えにくい被害を受けている一次産業への支援策は。

水産商工課長 諸条件があるが、水産業、農林業従事者に対し、1人15万円の支援と5万円の支援を行う。

児童扶養手当受給者への支援は

国の支援に上乗せして支給



議員 関 清 貴
(政 和 会)

問 新型コロナウイルスの影響を鑑みて児童扶養手当の支給を受けている方々に対し町独自支援を検討しているか。

佐藤町長 国の追加支援に上乗せして支給する方向で検討している。

問 支給する額は。

濱登健康子ども課長 受給世帯一世帯3万円で検討している。

問 学校給食費の免除の考えがあるか。

町長 今後、検討する。

問 町独自の事業継続支援金は就労支援事業所も対象か。

町長 対象となる。

問 災害時の避難所は3密を避けるなどの対策を考えているか。

町長 各避難所にマスク等を備え、災害対応と感

染防止を考慮し、避難所の設置箇所を増やす等見直しを行っている。

問 テイクアウトサービス等の情報を発信するポータルサイトや商品受け取り代行サービスへの補助を考えているか。

町長 飲食店情報は町のホームページに掲載し、随時更新。その他の必要な支援策については引き続き検討していく。

問 町の活性化のためにプレミアム商品券を発行

しては。

町長 地域経済の回復、消費者への家計支援、売り上げ減少の事業者等への支援を目的に実施に向け進めている。

問 オンライン授業に取り組むため、国では小学生1人に1台のパソコンやタブレットの配備を進めるが本町においても実施するのか。

佐々木教育長 国の補助金を活用し、本年度中の整備を目指している。



憩いの場として長崎地区の公園復興へ

公共施設の活用計画は

災害時の避難所等活用を検討

問 廃校となった校舎等の利活用計画は。

町長 民間等への譲渡または解体、既存の老朽化した公共施設の機能移転や地域自治会等での活用、災害時の避難所としての活用などを基本に検討を進めている。

問 八幡町の旧山田病院は老朽化し、崩壊の危険があるが耐震調査等を行い安全か。

町長 耐震診断を行い、一部基準に適合しない箇所がある。今後、公共施設等総合管理計画推進委員会等で検討する。

仮設住宅解体後の公園復旧は

県と協議を行い進めている

問 長崎地区の公園に設置している仮設住宅が解体となるが立木繁茂の懸念解消、フェンスの修繕およびトイレの修復の声が多い。震災前の憩いの場の公園に戻す考えはないか。

町長 公園に建設した応急仮設住宅は今年度中に解体撤去する。立木の枝払い、フェンスの修繕には対応したい。トイレは老朽化していることから修繕方法等検討する。

その他の質問

- ◆ 地域企業経営継続支援事業の要件緩和について
- ◆ 新型コロナウイルスの復旧工事への影響について

新型コロナウイルス

災害時の避難所対応は

感染症対策を講じていく

問 大雨や台風シーズンを迎えるに当たり感染防止を考慮した避難のあり方と避難所対応は。

佐藤町長 新型コロナウイルス感染症が収束しない中でも災害時には危険な場所にいる人は避難することが原則である。各避難所に体温計、マスク、消毒液を設置し、人と人の距離を確保しつつ発熱や咳などの症状が出た方の専用スペース確保のため段ボール製の間

仕切りで区切るなど、感染症対策を講じていく。

問 以前から段ボールベッドを要望していたが、どうなったか。

甲斐谷総務課長 現在1つの避難所に約10セット設置している。ほかの避難所についても設置の必要があると考えている。

問 一人親世帯など子育て世帯への町の支援は。

町長 一人親などで児童扶養手当を受給している世帯に対し、国の追加支

援に上乗せして給付金を支給する方向で検討している。

問 大学生、専門学生がいる一人親家庭の負担が大きいが、支援策は。

濱登健康子ども課長 今後、検討する。

メガソーラー事業

住民生活への影響は

県と連携し対応していく

問 田名部地区ではメガソーラー事業により森林が広範囲にわたり伐採された。住民生活への影響について認識と対応は。

町長 本事業は、県知事から林地開発行為の許可を受け災害防止や環境保全など住民生活に影響を及ぼさないよう対策が講

じられているものと認識している。町は事業実施者と開発協定を締結しており、協定に基づいた適正な対応を求めている。

問 昨年の10月の台風や今年4月の大雨で、近くを通る三鉄の線路根元付近まで土砂や水が押し寄せた。現地を見てどう感

じ、どう対応するのか。

佐藤農林課長 河川付近に土砂が流入していることは確認している。事業実施者が整備した洪水調整池や沈砂池などの防災施設が機能しているかどうかの確認を含め、県と連携し対応していきたい。



12月末完成予定の田名部地区メガソーラー施設

台風19号被害

田の浜地区の復旧は

国と協議し

改修していく

問 検証委員会からの報告を受け、復旧方針の住民説明会は行われたか。受け止めと対応は。

町長 住民説明会は3回開催し、地区住民46人が参加した。参加者からは概ね理解を得られたが、中央の道路を通すべきという意見・要望が出された。現在、国と協議を進めており、公園内を流れる準用河川女川についても改修予定。

問 中央の道路設置案が国との交渉で通る確率は。

甲斐谷副町長 確率は70〜80パーセントはあるものと思つて、その実現に向けてまい進していく。



議員 木村洋子 (日本共産党)

新型コロナ対策は

事業者への支援と消費を促進



横田 龍寿 議員
(政 和 会)

問 新型コロナウィルスにかかる経済対策の状況は。

佐藤町長 6月5日現在、テイクアウトサービス等導入支援事業補助金は5件の相談があった。山田町事業継続支援金は申請217件、金額は6510万円で予算に対する割合は36・2%。

問 山田町事業継続支援金は町内事業者に制度の内容が十分周知されていないように思われる。申請期間の延長と再度周知を検討してはどうか。

町長 これまで広報やまだおよび町ホームページに掲載し、対象事業者600事業者のうち約400事業者には、商工会を通じ申請書類を送付している。申請期間の延

一般質問

長は、今後の申請状況を勘案し判断する。

問 予算額に対する申請割合が36・2%である要因は何か。

野口水産商工課長 事業の性質上予算額の100%を指すものではないと考える。

問 他の事業と混同し申請をためらっている方がいる。そういった方々には、売上げが減っているのであれば申請したほ

うが良いと声掛けをしていたが、このスタンスでよいか。

水産商工課長 そのように周知に協力いただければ、多くの事業者を支援できると思う。

問 特別定額給付金に関連して町内での消費を促す案はあるか。

町長 プレミアム付商品券事業の実施を検討している。



町のシンボルでありかつ貴重な観光資源であるオランダ島

関係人口の増加を図るには

「オランダ島」「道の駅」を整備し活用

問 町の関係人口、交流人口は伸び代があるが、これを伸ばす策はあるか。

町長 町のシンボルであるオランダ島を活用した、マリネレジャーやマリンスーリズムなどの体験観光を推進する。また、町の魅力を伝え観光の拠点となる新たな道の駅の整備などを進める。

問 地元の魅力に関して地元の間は気が付きにくいものである。そこで大槌町で行った都市部の学生に一定期間住んで貰う事業を山田町でも行っ

川守田復興企画課長 学生時代から山田の魅力を発信し最終的には町に来てもらうというのもいい考えだと思う。

問 先日開催されたオンライン移住相談会の対応職員と相談件数はどうか。

復興企画課長 移住コーディネーターが対応し、相談者数は1件だった。

◆海産物の通信販売について

その他の質問

千島海溝震源大津波は大丈夫か

東日本大震災クラスを想定

問 新聞報道によると、東北から北海道の太平洋沖にある、日本海溝・千島海溝沿いを震源とした地震の想定を4月21日、内閣府の有識者会議が公表した。最大規模はマグニチュード9クラスとなり、本県南部では6強を想定している。本県には、10〜20メートル以上の津波が到達すると見込んでいるのだが、本町には何メートルの津波が来ると想定しているか。

佐藤町長 今回、内閣府より公表されたものは、科学的知見に基づく最大クラスの地震津波に対し、潮位、防潮堤の決壊条件など、最悪のケースで想定されたものであり、新聞報道では、本町の最大沿岸津波高は21・9メートルと言われている。

問 県で建設した防潮堤がこの津波に耐えられるのか。また、越えることが予想されるか。

町長 耐えられるかどうかは、今後、岩手県が津波防災地域づくり法に基づき作成する津波シミュレーションの公表により判明するものと考えている。

問 かさ上げた部分に被害が想定されるのか。また、今後避難所、公共施設をどういう場所にもってくる考えか。

町長 内閣府の被害想定、県の浸水想定区域等の公表に基づき、対策を検討していく。

問 津波が来ないことが一番であるが、仮に来たと想定した場合はどのような対策を特に考えているか。

に比べて津波の高さは低くなると言われている。日本海溝・千島海溝沿いで起きる地震による津波の高さよりも東日本大震災クラスの津波のほうが高いと予想されている。このため、今までどおり東日本大震災クラスの津波が来ると想定した避難、被害対策を引き続き行う。

要望 改めて、今後津波による犠牲者を1人も出さないという強い気持ちを持って、今まで以上に対策をとっていただきたい。

甲斐谷総務課長 山田町の場合、今回のシミュレーションでは宮古以北



阿部 幸一 議員
(新 生 会)



北浜地区の防潮堤建設予定地

田の浜

防災緑地の横断車道を

実現できるように国と協議



黒沢一成議員
(無所属)

問 田の浜地区の復旧について、住民説明会を行い、町長も住民の強い要望を聞いた。6月中には結論を出したいとのことであったが、その後の進展は。

佐藤町長 要望のある防災緑地の中央部を横断する車道については、引き続き国との協議を重ね、実現を目指す。

問 馬指野ニュータウンは、町道から流入する水量も多い。排水対策は。

町長 上流域で沢や道路の横断側溝が土砂で閉塞し、馬指野川への排水ができない状況となった。対策として、土砂の撤去と、断面の大きい排水管への入れ替えなどの改良工事を行った。

尾建設課長 馬指野集落内の水路を変更・整備して越水を防ぐ計画もたれている。

問 被害は、町内各所にあった。本復旧工事の予定表を町民に示せないか。

町長 災害復旧工事は、入札不調が増える心配がある。随時、計画を見直



豪雨・津波対策のために車道整備が望まれます

しながら進める必要があり、予定表の公表は考えていない。

問 半期ごとの予定でも地域住民は安心するのでは。

建設課長 大まかな部分であれば検討したい。

学校給食

子ども向けのメニューを

児童生徒の意見も取り入れたい

問 開始から2か月だが順調に実施されているか。子どもたちに不評なメニューもあると聞く。子ども向けのメニューを増やせないか。

佐々木教育長 給食は試行錯誤を重ねながらも順調に実施している。メニューは食育の観点から食材の良さや栄養摂取の必要性を学ぶ機会でもあるが、喜ばれるよう工夫に努める。

箱山教育次長 メニューの作成では季節や行事に合わせたものを取り入れている。また、家庭科の時間を利用してメニューを考えたり、アンケートを実施したりすることも検討しており、子どもたちの意見も取り入れていきたい。

まちなか循環線

利用状況は

低調、
周知はかる

問 公共交通のまちなか循環線の利用状況は。

町長 4月が166人、5月が138人。4月1日号の広報やまに折り込み、全戸配布をして周知した。

問 周知不足では。

川守田復興企画課長 新型コロナウイルスの影響もあると思うが、利用についての周知は考えていく。今年度は試験運行であり、その状況、町民の要望などを聞いて来年度の本運行に生かしたい。

農林漁業者への支援は

5万円から15万円支援する

問 農林漁業者に対する町独自の持続化給付金の支給対象者と支給内容の検討結果と支援内容について示せ。

佐藤町長 農林漁業者に対する支援については、新型コロナウイルス感染症の影響により売り上げが条件となるが、漁業者については漁協の正組合員とし、昨年1年間の水揚金額が120万円以上である場合は1人15万円、10万円以上120万円未満である場合は1人5万円支援する。

5万円支援する。農林業者については、主たる収入が農業または林業によるもので、昨年1年間の主たる収入が120万円以上である場合は1人15万円、10万円以上120万円未満である場合は1人5万円支援する。



菊地光明 議員
(新 生 会)

小学校のエアコン設置は

検討していく

問 新型コロナウイルス感染症対策や災害時の避難所としても利用される豊間根小学校のエアコン設置計画はどうなっているのか。

佐々木教育長 現在、熱中症対策として豊間根小学校には保健室に設置済みであり、本年度は会議室と図書室への設置を検討している。

問 熱中症対策はもちろん新型コロナウイルス感染症対策の観点からも各教室にエアコン設置が重要と考えられるが、未設置の小学校について教育長の強いリーダーシップにより設置の検討はできないのか。

教育長 今年の夏の状況を見ながら前向きに検討していきたい。



利活用が検討される閉校した学校（旧大沢小学校）

閉校した校舎の利用は

多分野での利用を検討

問 閉校した校舎の跡地の利用計画について示せ。

町長 閉校した校舎の跡地の利用計画については、維持経費削減や施設の長寿命化等の観点から、民間等への譲渡または解体、既存の老朽化した公共施設の機能移転や地域自治会等での活用、災害時の避難所としての利用などを基本的に検討を進めている。

その他の質問

- ◆ 台風19号被害からの復旧について
- ◆ 水産業の振興について
- ◆ 公園の管理方法について
- ◆ 限界集落の解消について

積極的な独自支援策を

プレミアム付商品券を検討



豊間根信議員
(政和会)

問 コロナウイルス禍への経済対応策は。

佐藤町長 事業継続支援金、家賃補助、テイクアウト事業等の支援事業を実施し、現時点で考えられる施策を積極的に進めている。

問 当初想定されていないかったあらゆる業種・家庭状況等への多種多様な独自施策展開は。

町長 低迷する地域経済回復のためプレミアム付商品券実施を検討している。

問 飲食店とタクシー業界等とがコラボしたデリバリー対応などを検討していたと聞いていたが。

川守田復興企画課長 地域公共交通の維持ということも踏まえ検討した経緯はある。先に町全体の経済活性化のため、プレミアム付商品券事業実施を進めていく。

問 このような状況下であるため、新たな雇用の場創出につながっていく、そして町民の皆さんが希望をもって安心して生活できる町を作り上げていく、そのような対応策を期待する。

復興企画課長 今後の国の動向を見据えて様々な対策を検討していく。

問 コロナ禍、そして震災後も含めた現状を踏まえ、自治会・行政区等の制度改革・対応をすべきではないか。

甲斐谷総務課長 国が示している「新しい生活様式」を参考にして、住民サービスを低下させず、地域の結びつきも考えた対応策を検討していく。

問 被害復旧状況・復旧施策への住民合意形成状況および復旧率、検証および今後の課題その対応を問う。

町長 5月末時点での復旧率は国の災害査定を受けた農林業施設5件の災害復旧工事が20%、公共

寄り添った相談に努める

土木施設52件の災害復旧工事が約6%となっている。住宅再建支援は補助43件、なりわい等に対する支援は施設設備の復旧補助4件の申請を受け付けている。今後とも制度の周知と被災者に寄り添った相談に努める。

台風19号被害 被災者への対応は



早期の改良復旧に向けて進行中の田の浜地区

町の公的施設の エアコン設置は

利用状況を踏まえ 計画的に設置

問 地球温暖化等に伴う異常気象等を踏まえ、各教育施設および公的施設への早期のエアコン設置が求められている。設置計画について問う。

町長 6月で全ての小中学校保健室への設置が完了する予定。船越保育園、放課後児童クラブは全て設置済み。今年度は中央コミュニケーションセンターと室への設置を計画している。未設置の施設についても利用状況等を確認しながら計画的に設置するよう努めていく。

その他の質問

◆ 空き家バンク制度の状況と今後の施策展開について

議会活動 レポート

総務教育・産業建設民生 常任委員会

閉会中の調査項目は

総務教育常任委員会と
産業建設民生常任委員会
では、閉会中の継続調査
を行います。

総務教育

常任委員会

- (1) 新型コロナウイルス感
染症対策について
- (2) 防災対策について
- (3) 学校教育環境について
- (4) 地域公共交通について
- (5) 環境問題について

産業建設民生

常任委員会

- (1) 商工観光の振興につい
て
- (2) 水産業の振興について
- (3) 東日本大震災被害から
の復旧復興について
- (4) 令和元年台風19号被害
からの復旧復興について
- (5) 新型コロナウイルス感
染症対策について

議会改革検討 特別委員会

議会改革へ 加速

加速

令和2年第2回定例会
において、議会改革検討
特別委員会が設置されま
した。山田町議会の改革
に関する調査、検討を目
的とし、議長を除く議員
13名で構成されていま
す。委員長は豊間根信議
員、副委員長は昆清議員
です。設置期間は、令和
2年6月9日から5年9
月10日までとなっていま
す。

これからは、社会情勢
に機敏に対応していくこ
とが求められます。ま
た、新型コロナウイルス
の影響を受け、国では新
たな生活様式を提示して
います。山田町議会で
も、そのような状況を踏
まえ、議員一人一人の英
知を結集し、より進化す
る議会を目指し活動して
いきます。

議会を傍聴しませんか？

次の定例会は、8月21日（金）に開会する予定です。傍聴の手続きは、傍聴人受付票に住所、氏名を記入するだけの簡単なものです。お気軽にお越しください。

表紙の写真を募集しています

あなたの写真で議会だよりの表紙を飾りませんか？

◆募集写真のテーマ

子どもや家族の写真、地域等での行事、町内の好きな風景など

◆写真の規格

カラーの縦写真（合成や組写真は不可）jpeg形式（2～4メガバイト程度）、撮影者自身に著作権があり、未発表のもの

◆応募方法

必要事項を記入した応募用紙と応募写真をメールで送っていただくか、CD、DVDに保存して次の宛先まで持参または郵送してください。

◆宛先

メール：gikaijimu@town.yamada.iwate.jp
住所：〒028-1392 山田町八幡町3番20号 山田町議会事務局

◆締切

第169号掲載分は9月18日（金）とします。その後も随時募集します。

その他、詳細事項は町ホームページに掲載していますのでごらんください。
※応募用紙も町ホームページに掲載していません。

みんなの「声」

Vol. 12

町民の皆さまからの町への提言、思いなどを紹介します。表紙(1ページ)に登場いただいた家族にお話を聞きました。

織笠地区在住の石崎さん家族

武久さん 久聖(ひさき)くん(6歳・三男)
優汰(ゆうた)くん(10歳・長男)
友紀子さん 絢士(あやと)くん(8歳・次男)

子育て世代が住みやすい町へ!

—町の好きなところは
海がきれいなところと、食べ物がおいしいところ。—

—町に望むことは
子育て世代が住みやすい町になってほしいと思います。—

—子どもたちに望むことは
何より健康でいること。また何事にも一生懸命取り組んで、思いやりのある人になってほしいです。—

傍聴席からひとこと

佐々木 泰子さん

第2回定例会を傍聴しました。

実際に傍聴すると、遠い存在であった議員の方々が、町民の声を代弁してくれる身近な存在と感じました。それは、議員の方々がする一般質問が、議員自身が実際に見聞きし、問題と想ったものを取り上げていたからです。一般質問を聞くまで、どの議員が、どのような考えや思いを持っているのか、なかなか知る機会がありませんでした。しかし、議会傍聴を通して、議員の方々の人となりをよく見ることができました。議会だよりだけでは、傍聴席からライブで聞くような温度感まではなかなか感じとれませんが、

自分が住む町のルールや仕組み、お金の使い方がどのように決められているのか、そんな。

No. 54

して、そのお金が実際にどのようなに使われたのか、町にある問題一つ一つがどのようなに解決されているのかなど、議会の傍聴は自分たちの暮らしに直結している様々なことを、リアルタイムで知ることができる貴重な機会でもあります。

子育て世代や勤務中の方が、体が不自由な方や学生など、様々な立場の町民に開かれた議会になってほしい。そのため、議会の様子をインターネット等を活用してライブ配信したり、録画したものを見られるようにするなどして、より多くの町民に、自分の町の仕組み作りに関心を持ってもらいたいと思います。

あとかき

▼東日本大震災から復興の道筋が見え始めた矢先、台風19号による豪雨大被害。その復旧工事途上のなか、新型コロナウイルス禍により日本はもとより世界的規模のパンデミックにより空前の経済損失・日常生活の崩壊等の状況下、目に見えない脅威に、自粛、3密への対応等により県内・当町におきましても感染被害なく、緊急事態解除宣言を迎えたことは町民の皆様方一人一人の感染拡大防止への意識向上の成果と感じております。▼第2波、3波も想定され樂觀できない状況です。これからも緊張感をもちながら「ピンチをチャンス」に！思いを一つに共に町の賑わいを創り出していかねばと、思いを新たにしました定例会でした。(豊間根)

◆発行責任者

議長 毘 暉 雄

◆議会広報編集特別委員会

委員長 菊地 光 明
副委員長 阿部 吉 清
委員 豊間根 吉 衛
阿部 幸一